

## 次号予告

### 特集 はじめよう金融工学

ポートフォリオ最適化入門.....	枇々木規雄 (慶應義塾大学)
デリバティブ理論入門.....	西原 理 (大阪大学)
資産価格付けの基本定理—ポートフォリオと確率の双対性—.....	後藤順哉 (中央大学)
連続時間モデルによるオプション価格付けとヘッジ.....	山田雄二 (筑波大学)
信用リスク入門.....	中川秀敏 (一橋大学)
Rではじめる信用リスク分析—順序ロジットモデルを用いた格付けモデル構築—.....	山本 零 (武蔵大学)
リアルオプション—金融工学とのつながり—.....	今井潤一 (慶應義塾大学, University of Waterloo)
保険数理の基礎—金融工学との比較—.....	藤田岳彦 (中央大学)

### メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

●今月号の特集は「個人情報保護法の改正とデータサイエンスの新潮流」でした。個人情報がデータとして経済的価値をもち、売買の対象となってきました。「プライバシー権の保護」のために世界的に法整備されてきた「個人情報保護法」が、「プライバシー権の保護」と「データの利活用」というトレードオフの絶妙のバランスをとるために、「改正」されました。2015年9月に成立した改正個人情報保護法は、その後2年以内に施行されることになっています。政令で今後定める部分も多く、また、匿名加工の基準は委員会規則で今後定めるとされています。どのような匿名化をすれば利活用が合法的であるかも、編集後記の原稿作成時点では決まっています。

●ここ数年「改憲」が話題となってきました。「個人

情報の保護」は、「プライバシー権の保護」の一環で、日本国憲法では、憲法第十三条（「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」）にその根拠があるとされています。自民党の憲法改正草案では、「個人」を「人」にかえる、としています。「個人」として尊重されるかどうかは、国の根幹に関わる問題だと思います。

●「データサイエンス」はORの特技を生かせる分野だと思います。たとえば、「プライバシー権の保護」という「制約条件」の下で「データの価値」の「最大化問題」の定式化と（近似）解法という新しい研究領域が生まれることを期待しています。（吉富康成）

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

関西支部編集委員長 岳 五一 (甲南大学)

オーガナイザ 吉富 康成 (京都府立大学)

関西支部編集委員 宇野 裕之 (大阪府立大学)、大西 匡光 (大阪大学)、木庭 淳 (兵庫県立大学)、小出 武 (甲南大学)、中西 真悟 (大阪工業大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成28年5月号 第61巻 第5号 通巻665号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。